

砂防工事業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	16~17	現場の提体水通し部で出来形測量中にバランスを崩し、高さ3.5m~4.0mの溪床部に落下した際に、首を強打した。	42	418	1	1~9
2017	1	12~13	工事現場内にて、敷鉄板を0.7tバックホウ（クレーン仕様）で荷卸し中に、吊り金具が外れて作業員の左足脛に倒れた。	33	372	5	—
2017	1	9~10	地すべり対策水路工事現場で、伐採作業の写真撮影を行うため移動しているときに、凍結し滑りやすい仮設配管VP200の上を歩行した際に足元が滑り転倒し、右手をつき骨折した。	42	419	2	—
2017	2	13~14	仮設道脇の支障木を伐採する作業中に、木の目標伐倒方向が想定外な方向に倒れたことにより、作業員が逃げ切れず木と地面の間に左腕と左手が挟まれて負傷した。	61	712	6	—
2017	3	8~9	高さ1.5m程度の斜面上に生えている立木（直径約17cm）を株の横に立って伐採していた。口が開いてきたので斜面下方に退避したが、退避した方向に木が倒れてきたため接触し転倒した。	25	712	6	30~49
2017	4	11~12	工事現場にて4tユニック車で重機を回送してその機械を降ろそうとした時、油圧のホースが一部破損しているのに気づき、その時に右手の人差し指にあたり油が手の中に入り負傷した。	35	212	6	10~29
2017	5	11~12	コンクリート擁壁にマーキング（出来形写真用）を書く目的で現場に立ち入ろうと、函渠を通り抜けて下に降りようとした時に誤って滑り	64	417	1	10~

			落ちて、土留め様に設置してあったコンパネに脊髄を強打した。				29
2017	5	13～ 14	現場で道路際の木を切ろうとしたとき、路肩が崩れてバランスが悪くなり、転んで転落し負傷した。	52	711	5	1 ～ 9
2017	6	14～ 15	法面整備工事の型枠組立作業中、寸法を測るため手袋を脱いで作業していたところ、型枠材に利用するセパレータ（金属製の型枠を固定するもの）の切り端先端部が左手甲に当たり、切れて怪我をしてしまった。	61	419	3	1 ～ 9
2017	7	10～ 11	当該工事現場に於いて、被災者が法面より高さ8m程の位置で、樹高19m樹径40cm程度の木をチェーンソーで切り倒したところ、後方の木とつるがからまっていた事により、後方の木と同時に引き倒され、後方の木に頸部及び胸部に直撃を受け被災した。	68	712	6	1 ～ 9
2017	7	9～ 10	川右岸側の比較的平坦な場所で盛土仕上作業をしているとき0.45?級バックホウを運転していたところ一旦作業が止まったのでエンジンを切り運転席からキャタピラ上に降り、そこから地面へ右足踵から降りたところに地面から突き出ていた石があり右足踵を骨折した。	61	711	3	1 ～ 9
2017	7	15～ 16	幅員6～8mの市道において、現場内は平坦だが始点部分より急な勾配がある場所で、舗装打換え作業の際、表層土を施工するために、アスファルトフィニッシャーへ4tダンプがアスファルト合材を荷卸し、数メートル前方に移動し、現場終点部分に停車した。その直後、ダンプの運転手と職長が口論となり、職長がダンプの運転手の腕を引っ張ったとき、運転手がバランスを崩して車外に落ちたため、ブレーキから足が離れ、またサイドブレーキもかかっていなかったために、勾配をダンプが動いてしまい、慌てて職長が止めようダンプに飛び乗ろうとしたが、20m程先にあったバックホーに挟まれた。	59	221	6	10 ～ 29
2017	9	9～ 10	通勤車両から現場へ歩行移動中に斜面にて足下が滑り、転倒を避ける為に約1m下にジャンプした。その際、腰痛を強く感じた。	62	417	19	1 ～ 9

2017	10	8~9	砂防堰堤現場で、コンクリート打設前に型枠内の清掃中、レイダンス除去用の2インチ水中ポンプを設置する釜場に足をとられて転倒し、型枠上部の縁に喉をぶつけた。外傷痛み等はなく、その日と翌日の午前中作業を行っていたが、声が出なくなったまま治らなかった。	65	417	2	10 ~ 29
2017	10	11~12	昇降施設を設置していた被災者が梯子のステップで足を滑らせてH=1.0m付近から転落した。設置途中であった暫定の手摺に掴まろうとしたが空振りし、落下した着地点が岩盤であったため、手をついた衝撃で左右手首を骨折した。	53	371	1	1 ~ 9
2017	11	15~16	資材置場で足場材の整理作業中、足場材にワイヤーロープを掛け、移動する為、作業の相手方がユンボで吊り上げた際に左手指を足場材とワイヤーロープの間に挟まれた状態で吊り上げられ負傷した。	50	221	1	1 ~ 9
2017	11	10~11	工事で斜面をはぎ取る前の雑木の切り取りの作業中、チェーンソーで左足の太股とふくらはぎを切った。	64	136	8	1 ~ 9
2017	11	8~9	置き場において、BH0.4の始業点検時にドアの開閉をしている際、開閉の弾みにより左手指を挟んだ。	62	141	7	1 ~ 9
2017	12	11~12	斜面の沢で、モノレールの撤去作業中、レールに沿って歩いていたが、斜面上の雪で滑って、モノレールの荷台とレールの上に足を挟まれ骨折した。	40	719	2	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html